

## 時代の変化への対応

○中小企業の生産性向上の支援	1億432万7千円【新規】
○先端成長産業の振興	
○IoTを活用した製品・サービスの開発を支援	5,107万1千円(4,416万5千円)
○スマート農業への転換を推進	1億2,590万7千円【新規】
DNA解析を活用した畜産業者を支援	1,376万9千円【新規】
ICTを活用した林業関係者を支援	1,142万4千円【新規】
海況データを活用した漁業者を支援	1,469万4千円【新規】
○IoTを活用した高齢者見守り機器等の導入検証を支援	443万円【新規】
○健康づくり県民運動を推進	7,691万2千円
○「福岡県スポーツコミッショング」の設立を準備	107万3千円【新規】
○ラグビーワールドカップ2019を福岡で開催	5億5,189万6千円
○2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致等を推進	1億2,391万9千円
○トップアスリートの育成・活躍を推進	4,508万5千円【新規】
○県営公園のウォーキングコース等を整備	2,539万9千円【新規】
○自転車の活用を推進	747万円【新規】
○70歳現役社会の実現に向けた取組み	1億6,509万2千円(1億5,816万6千円)



## 地方創生の推進

○中小企業向け制度融資を充実	融資総額6,884億円を確保(うち新規融資枠3,285億円)
○キャッシュレス決済の普及を促進	613万4千円【新規】
○地域商品券による地域経済の活性化を支援	3億6,617万7千円
○バイオ産業の拠点化を推進	2,311万9千円
○水素エネルギー分野への参入を強化	1,219万3千円
○航空機産業への参入を促進	2,610万6千円
○稼げる農林水産業の振興2	1億6,745万円
○ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピックの観光プロモーションを強化国内外からの誘客の促進	1億3,119万円
○太宰府周辺、世界文化遺産の保存活用を推進等本県の魅力発信	7,217万円
○福岡・北九州空港を整備等将来の発展基盤の整備	70億7,335万円
○県民の健康づくりの推進	1,317万円
○女性、高齢者、障がいのある人の活躍推進	1億2,766万円
○緊急輸送道路等を整備等地域防災力の向上	310億5,442万円
○性暴力対策を強化、犯罪被害者等の支援を強化	9,068万円
○自転車通行空間の整備を促進	1,829万3千円【新規】
○廃棄太陽光パネルのリサイクルを推進	602万4千円【新規】
○保育所・認定こども園等の運営を支援	272億8,744万円
○ふくおか未来人財の育成	3,376万9千円【新規】
・小・中・高校におけるプログラミング教育を充実	3億9,154万円【新規】
・県立学校におけるICT環境を整備	
・長期入院生徒の学習を支援	822万円【新規】
・生活困窮世帯の子どもの大学進学を支援	2,401万6千円【新規】



## 福岡県「令和元年度(2019年度)一般当初予算」ポイント

### 一般会計歳入歳出規模

1兆7,858億円  
(前年度比533億円、3.1%増)

過去2番目の規模  
(過去最大は平成28年度)

- 福岡県の今年度の一般当初予算は前年度比3.1%増の1兆7,858億円となっており、2016年度に次いで過去2番目の規模です。
- 新年度予算のポイントは、  
○豪雨災害の復旧・復興を加速する。  
○時代の変化を的確に捉え、「第4次産業革命」への取り組みを進めるとともに、人生100年時代に向けて人生を充実して過ごせる「100年グッドイフ(GOOD LIFE)福岡県」を構築する。  
○地方創生の実現に向け、県民の誰もが住み慣れたところで「働く」「暮らす」「育てる」ことができる地域社会をつくっていく。

### 3. 岁入



県税収入は同2.1%増の8,213億円。税収増に伴い、国からの地方交付税は同3.1%減の2,390億円となっています。法人二税や地方消費税の増により、171億円(2.1%)の増。豪雨災害復旧・復興等により国庫支出金は224億円(12%)の増、通常債は162億円(12.2%)の増。収支均衡を図るため、財政調整基金等三基金から18億円を繰り入れ。

県債残高は総額で3兆7,015億円(臨時財政対策債1兆3,577億円、通常債残高2兆3,438億円:通常債残高は豪雨災害復旧・復興対策等の特殊要因により、2016年度末に比べ、846億円の増。)となっています。

### 4. 岁出

- ◆社会保障費は、幼児教育・保育の無償化等により108億円(3.3%)の増
- ◆豪雨災害復旧・復興や国の国土強靭化緊急対策の活用等により公共事業費は162億円(7.9%)の増、災害復旧費は166億円(74.1%)の増

## 豪雨災害の復旧・復興

「2017年九州北部豪雨」災害から2年、「2018年西日本豪雨」災害から1年を迎え、本格的な復興の段階に入っています。被災者の方々が一日も早く生活の再建ができるよう県を挙げて取り組みを加速させます。

### ○「2017年九州北部豪雨」災害

被災した道路や河川等の復旧を加速化、災害の再発防止対策を推進  
490億4,610万3千円



被災者の住宅確保を支援  
14億5,110万6千円

営農再開と産地の復興を支援  
1,782万4千円【新規】

### ○「2018年西日本豪雨」災害

被災した道路や河川等の復旧を加速化、災害の再発防止対策を推進  
35億2,466万円